

(作成例)

参考様式第3号

年号〇年〇月〇〇日

事業実施主体名：〇〇森林組合

UAV（ドローン）による写真測量野帳

- 1 写真測量の実施時期（該当を丸で囲む）： 施業実施前 **施業実施後**
- 2 市町村名：〇〇市
- 3 事業名：脱炭素の森づくりモデル事業
- 4 現地における検証点の確認方法（該当を丸で囲むこと）
 - (1) 基準点等の既知点の座標値を採用
 - (2) トータルステーションによる座標値計測
 - (3) GNS S受信機による座標値計測（ハンドヘルド型受信機やドローンによる測位を含む）**
 - (4) 検証点間距離の実測

5 精度確認結果（(1)と(2)のいずれかに記載すること）

(1) 座標値

イ 検証点1

	①検証点の座標値（現地計測又は既知点）	②写真測量による検証点の座標値	①と②の間の距離（m）
経度又はX	38.58708934	38.58708924	0.04m
緯度又はY	141.33726540	141.33726588	

ロ 検証点2

	①検証点の座標値（現地計測又は既知点）	②写真測量による検証点の座標値	①と②の間の距離（m）
経度又はX	38.58707855	38.58707837	0.03m
緯度又はY	141.33728357	141.33728374	

※経度・緯度は十進法で記載するよう努める。

※許容範囲：①と②の間の距離（m）が3m以下であること。

なお、国土地理院による測量計算サイト（距離と方位角の計算）等により計算し、小数点第2位まで記載すること（小数点第3位を四捨五入）。

(2) 検証点間距離の実測

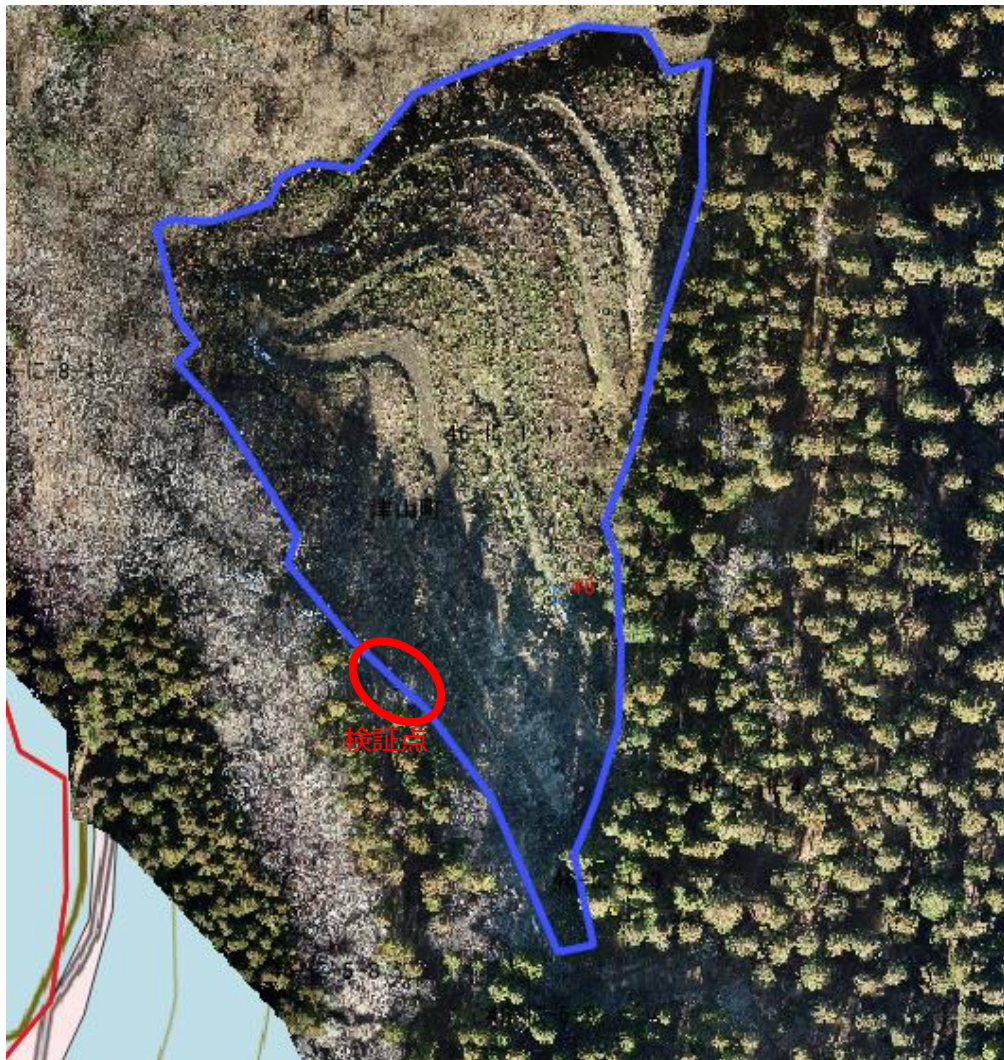
①現地における計測値（m）	②写真測量による計測値（m）	①－②	基準値（①*0.05）

※許容範囲：①と②の差が「①*5/100」以下であること。

なお、小数点第2位まで記載すること（小数点第3位を四捨五入）。

(作成例)

6 写真測量に用いたオルソ画像、GIS データ及び検証点の位置



※施行区域全体が把握できるオルソ画像に、施行区域の GIS データを重ね合わせたものを添付する。

※検証点の位置を、赤丸で明示する。

※スクリーンショットも可とする。

7 施行区域の面積又は延長

A=1.25ha

※6, 7については、当該事項が明示された帳票等を整理する場合、記載を省略できるものとする。

8 その他管理資料

検証点の座標値（現地計測又は既知点）の根拠資料

※測量の結果（点の記）、帳票、座標値が表示されている画面のスクリーンショット等